

文献1)では被害形態別に集計がなされており、図7に硬質塩化ビニル管の被害形態の比率を示す。7割以上が管体・継手破損の被害となっている。

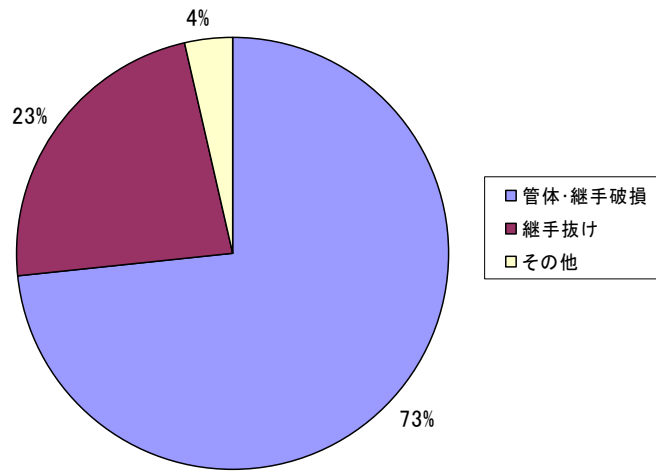


図7 硬質塩化ビニル管の被害形態の比率(神戸市、芦屋市、西宮市)¹⁾



a) φ75 硬質塩化ビニル管 破損



b) φ75 硬質塩化ビニル管 破損

写真1 硬質塩化ビニル管 (TS継手) の破損例¹⁾ (阪神・淡路大震災)



a) φ250×φ150 十字管 鋳鉄管 折損



b) φ450 鋳鉄管 継手部抜け

写真2 鋳鉄管の破損例¹⁾ (阪神・淡路大震災)